



陽だまり会



吉田光延 画

発行
 社会福祉法人いわき福音協会
 はまなす 荘
 いわき市平中平窪字二堂田2
 〒970-8002 ☎(0246) 8711
 編集責任
 はまなす荘新聞編集委員会

今年も桜の花が満開の時期が到来しました。毎年、巡ってこの季節は、私たちの心を浮き立たせます。そして、はまなす荘でもお花見を楽しみました。

近年、新型コロナウイルスに翻弄されていまして、昨年度は、以前の生活に戻るように行事や外出活動、旅行等も積極的に取り組んできました。四年ぶりとなる事業報告会、利用者・家族との懇談会を実施することができました。多くのご家族が参加してくださり、改めて人と繋がるのが、こんなにも大切に嬉しいものだと思感しました。また、はまなす荘五〇周年を迎え、ささやかな記念行事も実施でき、懐かしい写真の映像に感激していま



した。長い伝統に新たな時を刻んでいけるよう、これからも努力していきます。さて、どの職種も人材不足ですが、嬉しいことに四月に新採用職員を迎えることができました。私たち職員一人ひとりが笑顔で働けるように、お互いがお互いを気にかけて、気軽に声かけ合える人間関係を育めるよう皆で知恵を出し合っています。私たちが職員一人ひとりが笑顔で働けるように、お互いがお互いを気にかけて、気軽に声かけ合える人間関係を育めるよう皆で知恵を出し合っています。



ことができると信じています。

「人権」と「多様性」(ダイバーシティ)近年の重要なテーマである。人権意識はあっても、多様性の理解は乏しく感じられる世相である。生は多様、死は一様と言われる。多様性こそ生命の証である。多様性を認めていくという事の奥には、必ず『人間性』という普通の光が輝く。優しい言葉で人に接する事。皆の利益になる行為。共同作業など、具体的、現実的な実践が組織で、社会で、今求められている。『足下に泉あり』新年度のスタートを明らかに、今いる場所で、さあこれから！

南限の花

一年ぶりに、同志が自宅に訪れた時の事。お互いの近況を話し合う中で、三冊の本を手渡ししてくれた。その中の一冊に『障害者権利条約』の本が。彼が話すには「障害福祉に従事している人は、障害者権利条約は分かっている。実際に熟読し理解している人は少ない」と。改めて読んで見ると、第三条、八つの原則には「平等」、「非差別」、「差異の尊重」と、「人間の多様性」などの項目が。

令和六年度 事業計画

事業方針・計画につきましては、法人理念を基本とし、利用者の安心・安全を第一に考え、支援してまいります。

利用者への支援におきましては、一人ひとりの希望が実現できるよう丁寧な視点・姿勢を大切にし、個人

の視点に沿った環境づくりに尽力してまいります。また、相談支援事業所や各行政機関など多様な機関と連携を密に図り、地域生活移行の促進など地域資源を有効に活用し支援してまいります。

また、利用者を支える職員の確保・育成にも尽力してまいります。現状、人材確保が困難な状況となっております

が、積極的に情報の発信を行い、保育実習や社会福祉士実習など各種実習生を広く受け入れ、社会福祉の将来を担う人材の確保に積極的に努めていきたいと思っております。

地域の皆様との共有・連携に努め、事業運営していただきたいと思っております。ご協力の程、よろしくお願ひ申し上げます。

令和六年度 行事予定

初めに、令和五年度におきまして、新型コロナウイルス感染症等の流行が続く中、多くの保護者様・ボランティアの皆様にご参加いただいたことに対し心より感謝申し上げます。

さて、令和六年度行事計

画につきましても、基本的な感染防止対策の徹底を図りながら昨年度同様、春と秋のふれあいレクリエーションや夏祭り、クリスマス忘年会など季節ごとの行事を実施してまいりますと考えております。はまなす荘の利用者の皆さんが笑顔にあふれ、楽しみのある

生活が送れるよう職員一同連携して取り組んでいきたいと思っております。

今年度も保護者の皆様及びボランティア等でご協力いただいております地域の皆様にはご協力いただきありがとうございます。何卒よろしくお願ひ致します。



グループ旅行 2班



十一月十三日(月)～十四日(火)、宮城・山形方面へ一泊二日のグループ旅行に出掛けました。一日目のリナワールドでは、メリーゴーラウンドや観覧車などのアトラクションを体験したり、館内を散策したりしました。かみ

のやま温泉では、懐石料理に舌鼓を打ち、カラオケを楽しみました。雪がちらつく中の露天風呂は、いわきでは味わえない貴重な体験となりました。二日目の八木山動物公園では、多くの動物たちを目の前に、皆テンションが上がっていたように見えました。キリンビア



ポートでは美味しいハンバーグ料理をいただき、荘へと戻ってきました。コロナ禍でここ数年行けていなかった一泊旅行でしたが、写真には、にこやかな表情の利用者さんが写っていました。また素敵な景色や体験ができるよう、日々の作業や運動、頑張りましたね😊





新年度に向けて

男子棟

満開の桜の花に見守られ、新年度がスタートしました。新型コロナウイルス感染症が5類になり、様々な制限から解放され日々の暮らしを取り戻し始めています。

昨年度より、はまなす荘でもグループ旅行や施設行事が通常通り行われることになり、利用者様にも活気が戻り、普段通りの生活を送り始めています。

今年度もグループ旅行や行事の向上を図ると共に利用者様が安心して過ごす事が出来るように支援し、一人ひとりの意思を尊重し、楽しい生活を送れるよう男子棟一丸となり頑張ります。

令和六年度もご支援・ご協力のほどよろしくお願い致します。

厨房

コロナもようやく落ち着き、はまなす荘の桜もそれを喜ぶかのように綺麗に咲き誇りましたが、物価高騰に関しては、今年も歯止めがきかない状況に変わりはありません。利用者さんには大変申し訳ございませんが、引き続き、献立の見直しをせざるを得ない状況にあり、大変心苦しく感じております。

しかし、どんな状況であっても、利用者さんには、最後まで自分の口で食べて、健康で自分らしく生活する事ができるように、栄養面でサポートしていきたいと考えております。

そして「はまなす荘」で過ごすに、幸せだと思って頂けるように、利用者さんに「寄り添う栄養」を心がけていきたいと思えます。

今年度もご協力をお願い致します。

医務

今年のはまなす荘の桜は、花見の行事に合わせたかのように、当日満開の桜の下で行うことができました。

はまなす荘も創立五〇周年が過ぎ、入所者の高齢化・重度化も進み、介護度も年々あがっています。そんな日常の中でも、利用者の笑顔が絶えないことは変わっていません。

持病や障がいと上手に付き合い、口からはんを食べ、福祉用具を使いながら歩き、楽しく生活することが一番であり、全スタッフの協力のもと、また今年度も利用者の健康管理に努めていきたいと思えます😊

女子棟

今年もはまなす荘の桜が満開に咲き、気持ちの良い新年度を迎えることが出来ました。

また、女子棟においては、新しい職員が加わり、職員・利用者共に喜び、新たな気持ちで新年度を迎えています。

日々の生活の中で、利用者が安心・安全に生活が送れるよう職員で連携を図り支援していきたいと思っています。又、利用者の気持ちに寄り添った支援をしていきたいと考えています。

コロナウイルスも5類となり、制限のない日常生活に戻りつつあります。旅行や外出、様々な行事を利用者が安全に楽しく参加できるように職員で協力して行っています。

今年度も宜しくお願い致します。





一月二十三日(火)に「新年会」を行いました。本来であれば、年末に「クリスマス・忘年会」を行う予定でしたが、コロナの影響で中止となってしまったため、その代替として今回初めて「新年会」を行いました。

何か新年らしい遊びが出来たらと考えた結果、「笑う門



には福来る」という事で、「福笑い」を羽賀所長と栗村次長の顔で作ってみました。利用者は笑いながら楽しんでくれました。そして、遅れてやって来たサンタクロースからもプレゼントをもらい、美味しいスイーツと豪華な弁当を食べました。



二月二日(金)に節分の行事を行いました。今年度は女子棟にてインフルエンザ流行に伴い、各棟で行うことになりました。利用者の皆さんは迫りくる鬼役の職員に対し一丸となって一生懸命に豆を投げ、退治されていました。真剣になって豆をまき、各棟で響いた「鬼は外!福は内!」の掛け声は鬼のほかに厄や病も吹き飛ばしてくれたことでしょう。今回インフルエンザ流行の中で開催でしたが、

感染症対策に十分に留意して行いました。まだまだ感染症の流行は続きますが、今回鬼を倒した勢いで乗り越えていけることを願っております。



荘内の桃の蕾がわずかに賑らみ、春の訪れが感じられる頃、七段飾りの雛人形が飾ら

れた食堂にて「ひな祭り」の行事が行われました。

はじめに、職員より日本の文化であるひな祭りの由来を説明し、アンパンマンのひな祭り回のDVDを鑑賞しました。その後、折り紙でお雛様とお内裏様を折り、好きな顔を描いて食堂のテーブルに飾りました。色とりどりの個性豊かなお雛様、お内裏様が食堂を彩りました。最後は、「うれしいひな祭り」を歌い、桃のジュースとひなあられを食べ、早春の行事を楽しみました。



功労賞授与式



今年度の功労賞授与式は、三月二十七日(水)に実施しました。

男子棟からは、沼尾長紀さん。女子棟からは、田中布美江さん。所長特別賞として、鈴木達也さんの三名が受賞となりました。

沼尾さんは、入所してから はまなす荘で生活を送り、通所先のはらへ休むことなく通

いました。田中さんは、一年間、女子棟のごみ捨てのお手伝いを休むことなく一生懸命に行いました。鈴木（達）さんは、はまなす荘で意欲的にラジオ体操や日中活動に取り組みました。

今年度受賞した方は、はまなす荘での生活をより充実したものにできるよう、継続して頑張っていただけだと思います。他の方も、来年度に受賞するチャンスがあるので、日々の取り組みを無理なく頑張っていたいただきたいです。

ボランティア活動懇談会

令和六年三月二十七日(水)に、はまなす荘会議室にて令和五年度ボランティア活動懇談会が実施されました。コロナ禍によりボランティア活動自体が自粛されていましたが、令和五年度よりボラン



ティア活動の受け入れが再開しました。レクリエーションやドライブ付き添い、さきおり指導等のボランティアを振り返り、懇談会の中では、新しいボランティアの受け入れも必要ではないか、とのボランティアさんからの意見がありました。今後、利用者のニーズを考えながら、既存のボランティアさんも大切にしつつ、新しいボランティア団体の受け入れに取り組みみたい

異動者・退職者送別会

自治会主催にて異動者・退職者送別会を三月二十七日(水)に行いました。

今回男子棟副主任である坂本大介さんがシーズへ異動となり、女子棟では長い間現場を支えてきた阿部千代子さんが退職となりました。送別会でも別れを惜しみ、涙を浮かべながら感謝を伝える利用者



さんが多く見られました。坂本さん、阿部さん共に利用者さんに優しく、親身になって接していたため利用者さんからは「寂しい」との声が多々聴かれております。また、いつでもはまなす荘に遊びに来てください。長い間お世話になりました。益々のご活躍を職員、利用者一同願っております。

陽だまり会

四月十一日(木)に、荘内にて「陽だまり会」を実施しました。例年桜の開花時期とタイミングが合わず、花見と言うよりは春の陽気を感じて頂きたいとの意味合いを込めて今回名称を「陽だまり会」に変更して行いましたが、なんと今年は桜が満開の中行う事が出来ました。利用者さんも久しぶりに桜を見ることが出来、とても喜んでいる様子



が見受けられました。外で桜を見ながらシャボン玉を楽しみ、午後は玉入れやストラックアウト、輪投げにプチゴルフと、楽しみながら身体を動かしました。今年度も何事もなく、またきれいな桜が見られることを利用者さん、職員共に楽しみにしております。



普通救命普及講習

十二月十四日(木)に、普通救命普及講習を実施しました。

胸骨圧迫による心肺蘇生法や、AEDの使用方法の確認と実技を行いました。救急車が到着するまで何を行い、何をすべきなのかを確認しました。



いつ、どの場面でもそのような出来事が起こるかは分からないので、焦らずに行わなくてはなりません。講習を通して何度も繰り返し練習・確認しても安心できるものではありません。

どんな時でも焦らず落ち着いて対応できるように、日頃からイメージしておくことも大切なことだと思います。



今後も定期的に講習を実施していきたいと思えます。

New Face Introduction

職員紹介

- ①名前 ②職種 ③趣味・特技 ④抱負



①三浦 和人
②支援員補助
③野球観戦
④支援員の手助けになる様に頑張りたい。



①森あゆみ
②支援員
③読書・映画鑑賞
④先輩方から様々なことを学び、利用者様が楽しく笑顔で安全に生活できるように支援をしていきたいと思えます。



退職・異動者

〈退職〉

●平成十九年より勤務されていた阿部支援員が退職されました。新天地でも頑張ってください。

〈異動〉

●平成三十一年より勤務されていた坂本副主任が共同生活援助事業所シーズに異動になりました。新天地でも頑張ってください。

寄附

(順不同)

- 八巻たか様
- クレハ労働組合様
- 熊谷繁治様
- 植原明美様

編集後記

新年度が始まりました。利用者にとって実りのある一年となるよう、今年度も職員一丸となって支援に取り組んでまいります。